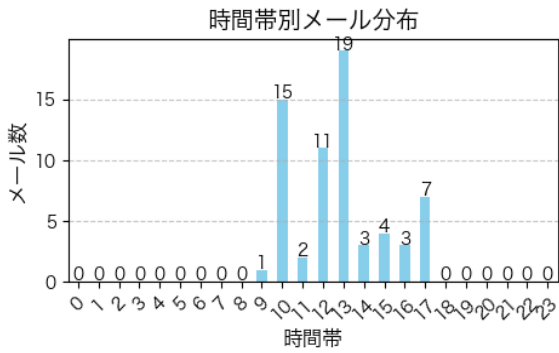
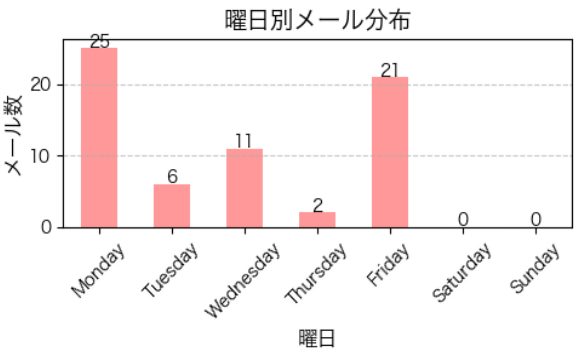


分析期間: 2024-03-11 ~ 2025-03-17 | 総メール数: 65件

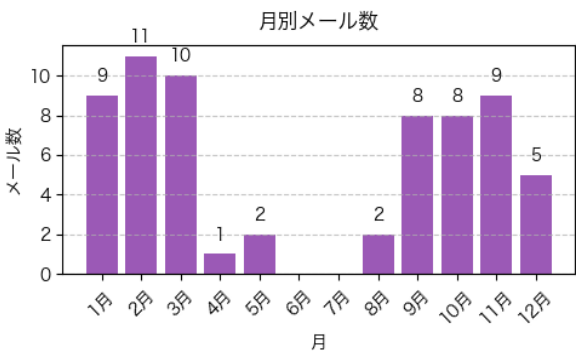
1. 時間帯別分布



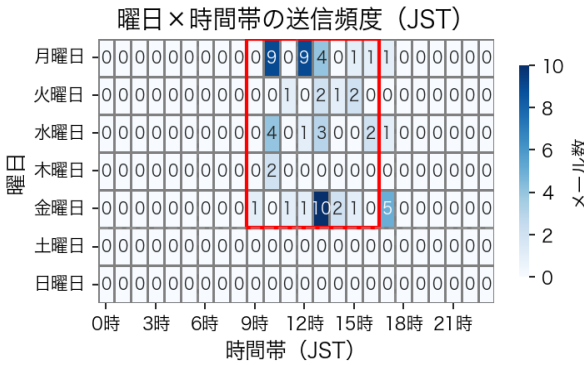
2. 曜日別分布



3. 月別分布



4. 時間帯×曜日ヒートマップ



データに基づく考察と改善提案

- [月曜日の午後1時は送信が最も多い時間帯と曜日の組み合わせ]:  
月曜日の午後1時に重点的にメール配信を行い、効果を分析することをおすすめします。
- [冬季は最も送信が多い季節]:  
冬季にメールキャンペーンを集中的に行い、季節性のあるコンテンツを提供することで、より高い反応が期待できます。
- [平均送信間隔が5.3日と比較的長い]:  
顧客とのコミュニケーション頻度を上げ、より迅速な情報発信を行うことで、顧客との関係性を深められます。
- [平日の午前中の送信が少ない]:  
午前中に重要な情報を配信することで、顧客の関心を引き付け、効果的な情報共有が期待できます。
- [週末の送信が少ない]:  
週末にも顧客への情報発信を行い、休日中の顧客の関心を喚起することで、新たな商機が得られる可能性があります。

